

サービス改善計画書

策定日： 令和5年3月20日

事業・サービス名： 放課後等デイサービス

施設・事業所名： きぼう

自己評価項目	評価結果	問題点・課題	改善内容と目標	時期と期間	責任者	備考 (必要な予算等)
職員の配置数は適切であるか	△	個別支援が必要な子が増えている。	多めに配置し安全に過ごせるようにしていく。	令和5年度	児発管職員	
業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	×	話し合う機会を持ってない。	話し合うようにする。	令和5年度	児発管職員	
職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	△	研修に参加できる体制ではない。	体制を整え、研修に参加できる雰囲気を作る。	令和5年度	児発管	
支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	△	話し合う機会を持ってない。	話し合うようにする。話しやすい環境作り。	令和5年度	児発管職員	
ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	△	活動がありきたりになってしまう。	子ども達が楽しめる活動を考えていく。	令和5年度	児発管職員	
放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	△	交流する機会が少ない。	積極的に関わるように外活動を増やしていく。	令和5年度	児発管職員	
虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	△	虐待について学ぶ必要がある。	虐待が起こらない職場を作っていく。	令和5年度	児発管職員	

障害福祉サービス共通評価基準 概評

放課後等デイサービス
きぼう
・ 職員の配置数を遵守するとともに、スタッフ数の確保に努める。
・ チームで支援できる環境を作っていく。
・ 研修の機会を設け、職員の資質向上に努める。
・ 働きやすい職場作りに取り組む。
・ 活動内容を再検討し、子ども達が喜ぶ活動を取り入れる。
・ 虐待が起こらないようにチームで支援に取り組む。
・ 地域との関りを大事にしていく。